










## 第5回 中央地区地域座談会報告

日時	平成29年10月8日(日) 9:30～11:10		
テーマ	子どもの育ち・子育て ～地域の人たちと連携した子育て支援の仕組みづくり～ 防災・防犯 ～地域で支え合うまちづくりの推進～		
会場	渦潮ふれあい館	参加者数	21名
<p>1班・2班は、『子どもの育ち・子育て』をテーマにグループワークをしました。「子育ての方法も時代とともに変化しているので、孫育ての勉強会や若い父親(育メン)の育成を行ってはどうか。」「子育て中の親が病気入院時、子どもの居場所確保に困った事例があったため、居場所をつくってはどうか。」との意見が出ました。</p> <p>3班・4班は、『防災・防犯』をテーマにグループワークをしました。「自分ファースト：自分の命は自分で守る」が鉄則で、家族間で発災時の避難場所の確認・連絡の取り方などを決めておくことが重要との意見が出ました。</p> <p>両テーマに共通して、常日ごろから隣近所とあいさつを交わし、声掛けのできる関係を作っておくことや、ハード面が充実していても知らない人が多いので、情報の発信・伝達方法を改善していこうという活動の目標が示されました。グループ内での意見発表の時間には、おのこの強い思いがあふれ出し、「時間が足りない。」との声があり、5分延長しました。終了後には、充実したいい座談会であったとの声をあちらこちらでいただくことができました。</p>			
  			


## 第4回 中央地区地域座談会報告

日時	平成29年9月10日(日) 13:30～15:10		
テーマ	中央地区の地域コミュニティづくり ～若い世代の地域への参加～		
会場	渦潮ふれあい館	参加者数	13名
<p>今回、中央地区の座談会では、これまでの3回の座談会で出てきた地区の課題から、意見の多かった『地域コミュニティづくり』を課題にし、サブテーマを『若い世代の地域への参加』として、3班に分かれて話し合いました。</p> <p>意見交換会開始直後は、「行政が何とかしてくれる」とか、「町内会の役員が何とかしてくれる」と言った方向へ話が行きがちでしたが、話し合いが進むと、若い世代へ引き継いでいくために「すぐにできる」ことや「時間をかければ取り組めそうなこと」が、徐々に意見やアイデアとして出てきました。具体的には、「いろいろな世代の人が集えるイベント開催…例：地区別運動会」「子どもを産み育てやすい環境づくり…例：先輩ママによる子育て相談会」「地域活動の内容の広報の仕方を考える…ツイッター、フェイスブック」などの意見が出ていました。気軽に集えるイベントを通じ、世代を超えて人と人とのつながりができ、地域への愛着心は育まれることを願って会を終えました。</p>			
  			

## 第3回 中央地区地域座談会報告

日時	平成29年6月4日（日） 9：30～11：30		
テーマ	中央地区の課題抽出 ～困りごとから解決への役割を考えよう～		
会場	渦潮ふれあい館	参加者数	32名
<p>参加して下さった皆様、ありがとうございました。子育て中の方やボランティア活動されている方、福祉関係の仕事をされている方など、いろいろな層の方の参加がありました。グループワークでは、皆さん真剣な面持ちで付箋に記入して下さる様子からテーマの重みを感じました。『遊具のある遊び場が少ない。』『空き家が多いが、駐車場の確保ができないので有効利用が難しい。』『道が凸凹で移動が危険。』などの意見が出ました。今回の座談会では、「地域住民の温かさ」「つながりを絶やさない」との思いを強く感じました。今回の座談会で出された課題のうち、地域が解決していく課題をどのように取り組んでいくのかについて、次回からの座談会で意見交換をしていきます。</p>			
  			

## 第2回 中央地区地域座談会報告

日時	平成29年4月15日(土) 14:00 ~ 15:40		
テーマ	福祉資源マップづくり ~中央地区の福祉資源を掘り起こす!~		
会場	渦潮ふれあい館	参加者数	13名
<p>お忙しい中、参加して下さった13名の方、ありがとうございました。</p> <p>「地域の福祉資源マップを作ろう」という、難しい内容に戸惑っている姿も見受けられましたが、市民委員等のサポートにより、ペンの運びがスムーズになっていきました。付箋を地図に配置する作業になると、皆さん地図に身を乗り出し、グループの方たちと会話しながら楽しく進んでいました。最後の発表では、この地区は「昔も今も市の中心であり、市役所をはじめ主要な公共施設が充実している」「平地部なので移動が楽だ」「自転車で大型スーパーへ買い物に行ける」等の意見が出されました。他方、店を閉めてしまったところもあり、今の時代を反映している状況が浮きぼりになりました。また、人的な資源として民生委員さんが精力的に地域のことを見守ってくれているとの発表もあり、これには参加者全員納得の様子でした。『みんなが考える』街づくりのヒントが、この会話の中には詰まっていると感じました。</p> <p>中央地区には、福祉資源が充分にあり、住みやすい街であると言えますが、その中でどのような課題があるのかを次回の座談会で見つけていければいいのではないかと思います。</p>			
			

# 第 1 回 中央地区地域座談会報告

日 時	平成 29 年 3 月 18 日（土） 14：00 ～ 15：40		
テーマ	中央地区らしさってなんだろう（中央地区の魅力発見）		
会 場	渦潮ふれあい館	参加者数	15 名
<p>お忙しい中、参加して下さった 15 名の市民の方々、ありがとうございました。</p> <p>グループワークになると、『いつも悪いところを探して、ようにしていっしょけんねー。』とか、『ええ所やあるでー？』などの声が聞こえてきましたが、市民委員・サポーターのアドバイスやヒントで、活気が始まり、いろいろな意見や鳴門の魅力がでてきました。参加者の皆さんの熱い思いが伝わってくる時間でもありました。</p>			
